

昭和五十三年度仏教文学研究会大会報告
日時 六月二十四日～二十五日
会場 高野山大学(和歌山県高野町)

△第一日V六月二十四日(土)

- 一、研究発表会・午前の部(九時～十二時)
- 今昔巻十四「弘法大師挑修円僧都語第
四十」の検討 末武 恭子氏
- 高光出家の原因と文芸 田代 愛子氏
- 四天王寺西門信仰をめぐって 梅谷 繁樹氏

古本説話集と仏教 伊藤 孝子氏
慈鎮和尚夢想記について 間中富士子氏

一、役員会(十二時～十三時)

- 一、研究発表会・午後の部(十三時～十六時)
- 挨拶 (高野山大学学長) 中川 善教氏
- 薫の道心 奈良崎聖子氏
- 偽撰戒珠集とその影響 清水 宥聖氏
- 仏教説話集の成立と説草 永井義憲氏

△講演V
密教の世界 松長 有慶氏

一、会員総会(十六時～十七時)

一、懇親会(十八時～二十時)
会場・金剛峯寺

△第二日V六月二十五日(日)

- 高野山文学散歩
- 集合 金剛峯寺門前・午前八時半
- 解説 山内 潤三氏(午後二時解散)
- *なお、△第一日V会員総会において、
会名の変更が承認された。即ち、従来の
「仏教文学研究会」が、今後「仏教文学
会」となり、従って会則の第一条も「本会
は仏教文学会と称する」と変更される。

東部部会(昭和五十三年度例会) 報告

五月十三日(土) 於鶴見大学

仏教説話集の特質——比喩・譬喩・口承——
菊地 良一氏

研究発表終了後、曹洞宗大本山総持寺
の講堂を拝観。
九月九日(土) 於鶴見大学

天台声明を聴く会

六道講式(入間国宝故中山女雄大僧正
その他の人々による録音使用)

十月二十八日(土) 於鶴見大学
天台座主と宇治拾遺物語——巻二の三話を
中心にして—— 尾崎 勇氏

『日本靈異記』における行基説話
増古 和子氏

十一月二十五日(土) 於鶴見大学
声明儀法を聞く会

本年十一月十二日京都青蓮院に於て行
われた久邇宮邦彦王尊儀並びに梶子妃尊
儀の御法要の録音を使用。
調声 東伏見慈治院下

出仕僧 比叡山延暦寺・魚山一口
一月二十日(土) 於鶴見大学 △東西合
同例会V

『極楽記』成意説話をめぐって

石橋 義秀氏
小川 賢真氏

仏教文学の研究課題

西部部会(昭和五十三年度例会) 報告
五月二十日(土) 於大谷大学
よみがへり——『日本国現報善惡靈異記』

の世界——

摩訶止観の十境

出雲路 修氏
福島 光哉氏

九月十六日(土) 於京都女子大学

自己を語る説話

浜千代 清氏

△講座V法華経序説

——第一回・法華経の趣旨——

横超 慧日氏

十月十四日(土) 於仏教大学

発心集における蓮如について

高橋 貞一氏

△講座V法華経序説

——第二回・法華経の比喩——

横超 慧日氏

十一月十八日(土) 於龍谷大学

聖護院蔵『続後撰和歌集』の伝本について

高畠 望氏

△講座V法華経序説

——第三回・法華経と現世利益——

横超 慧日氏

十二月九日(土) 於花園大学

枕草子「すべて六観音」の再吟味

土岐 武治氏

研究発表終了後、声明法華懺法(十一
月十二日、於青蓮院)の録音を聞いた。
一月二十日(土) 於鶴見大学

『極楽記』成意説話をめぐって

石橋 義秀氏

仏教文学の研究課題 小川 賢真氏

東部事務局・間中富士子先生の御案内
により、去る十一月十二日(日) 青蓮院
宸殿に於て行われた、久邇宮邦彦王尊儀
・五十回御忌、邦彦王妃梶子尊儀・二十
三回御忌(声明法華懺法献茶法要)に東
部・西部の会員三十余名が参加し、約二
時間にわたって声明儀法を拝聴し、一同
深く感動したことがある。

なお、その録音を前記の如く、東部例
会(十一月二十五日)、西部例会(十二
月九日)でも拝聴した。